

会 議 概 要

審議会等の名称		令和3年度 第1回市川市社会教育委員会議	
開催日時		令和3年7月13日（火）～令和3年7月27日（火）	
開催場所		（書面開催）	
出席者	委員	千坂行雄委員長、清水輝和副委員長、押田敏郎委員、刈込英昭委員、伊藤潔委員、遠藤恵子委員、天野敏男委員、富田勇人委員、福田潔子委員、徳安祥子委員、宮本均委員、大野京子委員、長澤成次委員、成田久江委員、野澤順治委員	
	所管課	生涯学習部社会教育課	
	関係課	生涯学習部 部次長、教育総務課、教育施設課、青少年育成課、社会教育課、中央図書館、考古博物館、学校地域連携推進課	
議題及び会議の概要		公開・非公開の別	非公開の場合の理由
(1) 報告 令和3年度社会教育関係事業概要		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
(2) 報告 コロナ禍における社会教育施設の使用について		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
(3) 報告 「新たな学びと交流の場」づくり事業について		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
傍聴者の人数	—		
閲覧・交付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題資料1 令和3年度社会教育関係事業概要 ・ 議題資料2 コロナ禍における社会教育施設の使用基準について ・ 議題資料3 市川市新たな学びと交流の場基本構想及び整備計画 		
特記事項			
所管課	生涯学習部 社会教育課（内線：18672, 18674）		

令和3年度 第1回社会教育委員会議書面会議 会議録

令和3年9月14日

委員名	意見・質問等	回答
(1) 令和3年度社会教育関係事業概要		
押田委員	「新・参考業務月報」 図書館のホームページの「レファレンス事例集」から入る「新・参考業務月報」は、大変おもしろく拝読させていただいております。ただ、どこで見ることができるのかを知らないという方がほとんどでしたので、ぜひもう少しアピールしていただければと思います。	【中央図書館】 興味の引くように、レファレンスの傑作事例集等を作成し、気軽に本の相談ができるように、わかりやすく紹介していきます。

委員名	意見・質問等	回答
(3) 「新たな学びと交流の場」づくり事業について		
千坂委員長	旧いちかわ観光・物産案内所を活用し、本を介した「学びと交流の場」とするため、環境を整備し、今年中に供用を開始するとのこと。 コロナ禍の影響で、第1回目の社会教育委員会議は書面開催としたが、次回、「新たな学びと交流の場」を実際に見たうえで、対面にて会議をおこなえれば、委員の方々からも、様々な意見が伺えるのではないのでしょうか。	【社会教育課】 オープンにあたり、社会教育委員の皆さまに施設をご覧いただける機会を10月下旬頃に設けることを予定しております。 ※会議の運営形態（通常開催か書面開催か）に関する意見のため会議録としては公開しない。
徳安委員	資料「新たな学びと交流の場 基本構想及び整備計画」を見ると、人生100年時代に学び続けられる環境として、大きなガラス張りの吹き抜けを配した非常に目を引く建物に魅力がある。 「事業目的と施設コンセプト」は、一読しただけでは理解が難しい印象がある。 例えば、‘BOOK（本）×CAFE（珈琲）×MUSIC（音楽）’など。 この場を活用していくという事業目的を達成するためには、毎月のコミュニティ活性化企画が重要と思われる。	【社会教育課】 本施設は、本を介した学びと交流の場を提供することで利用者同士の交流を促進し、学び続けられるコミュニティの形成を促進することを目的とした施設です。 毎月テーマを設定し、そのテーマに関する本を選書して配架します。 設定したテーマに関連した本やイベントに興味のある方が集まることで、利用者同士の交流の促進が期待されます。 本を介した交流を促進するような、くつろいだ雰囲気演出するためのアイテムとして、ドリンクや居心地の良い音楽を効果的に活用していきたいと考えています。 コミュニティ活性化企画の重要性については十分認識しており、企画の内容については施設を運営する民間事業者と市の担当者による企画会議により決定します。

<p>押田委員</p>	<p>新しい発想で市民の文化・教養意識を高めることは素晴らしいと思います。</p> <p>(1) 運営方針の中の「学習と交流のためのサードプレイス」⇒では1、2は何でしょうか。</p> <p>(2) 運営に必要な基本要件の中での事業でKPI/KGIの設定とありますが、行政、企業では日常的な用語かもしれませんが、一般市民の中には、もっとわかりやすい用語を使って欲しいという方もおられると思います。</p> <p>(3) 定例企画会議において、「毎月企画」がありますが、周りに小学校の勉強をやり直したいという方が複数おります。クイズ番組の小学校問題などが解けないことが影響しているそうです。可能であれば、小学校の同じ教科書を複数置いて、例えば、地理・歴史、生物・科学など、内容解説やこぼれ話の企画などはいかがでしょうか。</p> <p>(4) 上記内容は、次年度以降の公民館主催講座等でも企画できれば、世代を超えて話題が豊かになり、参加者発信で、家庭内、近所、地域のコミュニケーションが学びを通して取れていくのではないかと考えます。</p>	<p>【社会教育課】</p> <p>(1) サードプレイスとは、自宅・職場に続く第3の居場所を示すものです。この「新たな学びと交流の場」が利用者それぞれが居心地良く過ごせる場所にしたいという考えのもと運営してまいります。</p> <p>(2) 市民の方に分かりやすい記述に努めてまいります。</p> <p><KGIとKPIに関する解説></p> <p>【KGI】</p> <p>Key Goal Indicatorの略です。 「最終目標」を数値化したものです。 例えば、テストの点数をあと10点上げたいといったものです。 そのために、問題集を毎日必ず3ページやるといったような、「KPI」を設定し、達成していくことが重要になります。</p> <p>【KPI】</p> <p>Key Performance Indicatorsの略です。 「中間目標」を数値化したものです。 設定することにより、目標に向けた行動が明確になり、「最終目標（KGI）」を達成するためには、何をどれだけ行えばよいか分かりやすくなります。</p> <p>(3) 毎月のテーマについては、施設を運営する民間事業者と市の担当者による企画会議により決定しますが、市民からのテーマの公募についても検討してまいります。</p> <p>(4) 主催講座については、市民の方の多様な学習ニーズに对应していきたいと考えていることから、提案いただいた内容についても検討してまいります。</p>
<p>成田委員</p>	<p>「新たな学びと交流の場」づくり事業について、現代の若者にあった（本）（珈琲）（音楽）の企画書、立地条件も良いので楽しく集う場として利用されると思います。何点か提案します。</p> <p>(1) 本の寄贈コーナー（いらなくなった本を置いていく。必要な人は自由に持ち帰る。）</p> <p>(2) 調理室の設置 市川には、在住外国人が多い。その人たちのお国料理や日本の季節料理を作る”食文化の学びの場の提供”。</p> <p>(3) ボランティアの活用（特技、利用できる時間の活用）。</p> <p>(4) 企画会議を開催して運営について話し合う。</p> <p>青少年や高齢者、誰でも参加できる市民の”憩いの場”居場所として広く活用される事を望みます。</p>	<p>【社会教育課】</p> <p>(1) 本の寄贈は図書館でも受け付けていることから、受入れの可否や活用方法も含めて検討いたします。</p> <p>(2) 調理をして提供するためには、食品衛生法に基づく営業許可を取る必要等があることから難しいと考えます。</p> <p>(3) ボランティアの活用につきましては、今後、施設を運営する民間事業者と協議してまいります。</p> <p>(4) テーマの設定やイベントの内容については、施設を運営する民間事業者と市の担当者による企画会議により決定します。</p>

大野委員	<p>(1)設置地域はどこか。</p> <p>(2)吹き抜け部に背の高い本棚があるが、利用方法は。</p> <p>(3)民間にあるいわゆるブックカフェとの違いが「地域」というだけでは公費を投じて作る意味はどこまであるのか。</p> <p>(4)イベントスペースというと耳障りは良いが、従来の公民館の貸室よりは、オープンで不特定多数が利用ということか。</p> <p>(5)市としてコンテンツは考えているか。イベントスペースのコンテンツは全て民間頼みなのか。</p>	<p>【社会教育課】</p> <p>(1)市川市市川1-1-1（旧観光・物産案内所）です。</p> <p>(2)本棚の中段より下部には、テーマに基づいて納入した本を陳列し、上部にはその他の企画等に関連した書籍の紹介や、過去のテーマに関連した本などを陳列する予定です。上部の本を読みたい時は施設スタッフが対応する予定です。</p> <p>(3)本施設は、ブックカフェのように「単にお茶を飲みながら本が読める施設」ではなく、本を介して利用者同士の交流を促進し学び続けられるコミュニティの形成を促進することを目的とした施設を目指しています。</p> <p>(4)設定したテーマや陳列した本に関連したイベントを開催するものです。</p> <p>(5)テーマの設定やイベントの内容については、施設を運営する民間事業者と市の担当者による企画会議により決定します。</p>
長澤委員	<p>「新たな学びと交流の場基本構想及び整備計画」についてお聞きします。</p> <p>(1)事業目的と施設コンセプトに関わることですが、「主に社会人や大学生」を対象とすることと、「人生100年時代に働きながらも学び続けられる環境」とは矛盾することはないでしょうか。</p> <p>(2)「本を紹介した市川市民の学習交流のためのサードプレイス」ということですが、市川市の図書館計画や整備計画との関連がありましたら教えてください。</p>	<p>(1)本事業は、若い世代のうちから学習機会を得ることで、生涯を通じた学びに繋がる働きかけを行うことを目的のひとつとしております。そのため、主な対象者の設定と施設コンセプトには矛盾は無いと考えております。</p> <p>(2)本施設は、性格的にも図書館とは異なるものになります。今後、事業における連携等は検討してまいります。図書館計画等での位置づけや整備計画との関係はありません。</p>

委員名	意見・質問等	回答
刈込委員	※意見、質問はありません。	
伊藤委員	※意見、質問はありません。	
遠藤委員	※意見、質問はありません。	
天野委員	※意見、質問はありません。	
清水委員	※意見、質問はありません。	
富田委員	※意見、質問はありません。	
福田委員	※意見、質問はありません。	
宮本委員	※意見、質問はありません。	
野澤委員	※意見、質問はありません。	